

別紙添付⑧

入念、想う力。新を、想う力。



English

文字サイズ

小 中 大

三菱地所を、見に行こう。

Q 検索

お問い合わせ

企業情報

事業内容

グローバルでの取り組み

ニュースリリース

IR情報

CSR

採用情報

行動憲章

[ホーム](#) [企業情報:会社情報](#) [行動憲章](#)

三菱地所グループ基本使命

私たちはまちづくりを通じて社会に貢献します

私たちは、住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献します。

[↑ ページの先頭へ](#)

三菱地所グループ行動憲章

私たちは、基本使命を実践するために以下の通り宣言し、実行します

1. 私たちは誠実に行動します

法と倫理に基づいて活動し、常に自らの行動を謙虚に振り返り、社会とのコミュニケーションを大切にすることで、公正、透明で信頼を第一とした企業活動を行います。

2. 私たちはお客さまからの信頼を得られるよう努めます

お客さまの立場で考え、安全でより良い商品・サービスを提供するとともに、情報を適切に開示します。

3. 私たちは活力のある職場づくりに努めます

自らの成長をめざし、個々の人権や多様な考え方を尊重し、創造性・専門性を高めながらチームとして総合力を発揮します。

[↑ ページの先頭へ](#)

三菱地所グループ行動指針

第1章 経営者の責務

(1) 行動憲章を率先垂範します

経営トップをはじめ全役員は、コンプライアンスの実践こそが企業と社会の信頼関係構築のための絶対条件であることを認識し、行動憲章の実現を自らの重要な役割とし、先頭に立って順守します。また、平時の管理指導と社内体制の整備を行うとともに、不測の事態に備えた体制を平素から整備します。

(2) 問題が発生した場合には自ら迅速に対応します

経営トップをはじめ全役員は、万一問題や行動憲章に反するような事態が発生した場合、自ら迅速かつ適切に下記対応を行います。

原因の究明

社内外に対する事実に基づいた情報公開

社会に対する責任と誠意ある企業姿勢の明示

自らを含めた関係者・監督者などの速やかかつ厳正な処分と、結果の公表

再発防止策の徹底

[↑ ページの先頭へ](#)

会社情報

会社概要

行動憲章

役員

組織図

沿革

広告

グループ会社

事業案内

コーポレートブランド

MEC FAN

三菱地所を見に行こう

第2章 誠実な企業活動実践のための指針

(1) 仕事を通じて自らの成長をめざします

私たちは、常に誠実さ、優しさ、謙虚さをもって行動することを心がけ、社会の一員として誇りを持ち、仕事を通じて自らの成長をめざします。

(2) コンプライアンスを実践します

私たちは、法令順守、社内規則を含む諸規範の順守、倫理・社会的良識に基づく行動をコンプライアンスと定め、これを実践することによって、社会からの信頼を得られるように努めます。

(3) 疑問などを感じたら相談します

私たちは、事業活動における行為がコンプライアンスに従っているかを常に自らに問いかけ、判断に迷う場合は上司に相談します。また、必要に応じてその問題に関する専門部署やヘルプラインに相談します。

私たちがめざすのは、「誠実な企業」であり、行動憲章の趣旨に反する行為に対して、見て見ぬ振りをせず、専門部署やヘルプラインなどに連絡します。

(4) 社会とのコミュニケーションを大切にします

私たちは、市場の期待やニーズに応え、社会との相互発展をめざすために、お客さま、株主、取引先、地域社会の方々などと積極的にコミュニケーションを図り、それを経営に生かすことで公正、透明で信頼を第一とした企業活動を行います。また、不利益な情報も含めて企業情報を積極的かつ公正に開示することで社会への説明責任を果たしていきます。

(5) 人権を尊重します

私たちは、あらゆる人種や民族、大人、子ども、高齢者及び障害者が共存し、また男女が共同して参画できる社会づくりに貢献します。また、国籍、人種、宗教、思想、性別、年齢、身体上のハンディなどに基づく差別を行わず、あらゆる差別を生み出す偏見や固定観念などを排除して、多様な価値観や文化を尊重します。

(6) 反社会的勢力とは一切の関係を遮断します

私たちは、理由の如何を問わず違法行為・反社会的な行為は行いません。また、万一違法行為や反社会的勢力との関わりを生じる恐れがある場合には、毅然とした態度で拒否し、上司や専門部署に報告の上、三菱地所グループの組織を挙げて適切な処置をとります。

下 ページの先頭へ

第3章 社会と良好な関係を築くための指針

1. お客さまに対して

(1) お客さまの立場で考えて行動します

私たちは、お客さまとのコミュニケーションなどを通じて、市場のニーズや期待の把握に努め、社会にとって有用で、安心、安全で快適な商品・サービスを適正な価格で提供します。また、商品・サービスに関する情報を、不利益な情報も含め、お客さまの立場に立って適時適切に明確かつ分かり易く提供し、公正な取引に努めます。

(2) お客さま情報の保護に努めます

私たちは、個人情報の重要性を認識し、お客さまの個人情報について、その収集、記録、管理、利用、廃棄において適切に取り扱います。また個人情報の紛失、改ざん、漏洩などの事故防止に努めます。

(3) 誠実に対応します

私たちは、お客さまから寄せられた商品・サービスに関する要望、苦情、発生した事故やトラブルに対し、迅速かつ適切、誠実に対応します。

2. 取引先・競合企業に対して

(1) 適正な取引を行います

私たちは、自由、公正、透明な市場競争に基づく適正な取引を行い、社会の信用を第一に考えて行動します。また、虚礼廃止に努め、式典や慶弔の行事などは簡素、合理的なものとし、接待や贈答は企業活動に必要な場合に限り社会通念を逸脱しない範囲で行い、法令や相手先の内部規定などにより禁止あるいは制限される場合はそれを順守します。

(2) 相互信頼関係を構築します

私たちは、取引先とはパートナーとして対等な立場であることを踏まえ、経済的合理性に基づいて公正で透明な取引を行い、相互信頼を構築して互いの発展をめざします。

(3) 他者の知的財産を尊重します

私たちは、著作権をはじめとする他者の知的財産を尊重し、適切に取り扱います。

(4) 情報は適切に入手、管理します

私たちは、職務上知り得た情報・営業秘密など、一切の機密情報を法令などに基づいて厳重に管理し、外部への漏洩防止に努めます。

(5) グループ会社間の取引も一般の取引と同様に行います

私たちは、グループ会社間の取引について、市場価格による相互対等の関係を原則として、公正、透明に行います。グループ会社間で業務上利害が対立する場合、各々の立場を理解した上で行動憲章に則って行動します。

3. 株主・投資家に対して

(1) 健全な事業活動を行います

私たちは、株主や投資家から受け入れた貴重な資金を使ってビジネスを行っています。従って、健全な事業活動を行う責任、またその事業内容を正しく説明する責任を全うします。

(2) 積極的にコミュニケーションを行います

私たちは、適正かつ迅速に情報開示し、積極的なIR活動(投資家に対する広報活動)を通じて、株主・投資家などからグループの経営や活動の理解を得られるように努めます。

4. 政治・行政に対して

(1) 健全で透明な関係を構築します

私たちは、政治や行政との癒着を疑われるような行為は行いません。また、政治や行政に対して要望する場合には、公正な手続きによって行います。

(2) 不適切な接待・贈答は行いません

私たちは、政治や行政に対し、違法となるような場合はもちろん、社会通念を逸脱した倫理的に不適切と評価される接待・贈答は行いません。

5. 地球環境に対して

(1) 事業活動に関わる環境負荷低減に取り組みます

私たちは、エネルギーや資源の効率的な利用などにより地球温暖化の防止に努めるとともに、ごみの発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)などにより循環型社会づくりに貢献します。

(2) 積極的な環境情報の開示を行います

私たちは、積極的に環境に関する情報の開示を行います。

6. 社会に対して

(1) 企業市民として社会貢献活動に取り組みます

私たちは、企業市民として、心豊かな社会の実現をめざし、社会貢献活動を行います。活動にあたっては、人的経済的支援、NPO(非営利団体)との連携など、良き企業市民として社会問題の解決ならびに社会との相互発展をめざします。

(2) 地域社会との調和と持続的発展に努めます

私たちは、海外も含めた事業拠点において、地域社会との調和と相互の持続的発展をめざし、課題解決や活性化に努めるとともに、地域の歴史や文化、慣習を尊重します。

不 ページの先頭へ

第4章 職場における指針

(1) 活力のある職場づくりに努めます

私たちは、互いの人間性や個性を尊重し、プロフェッショナルとしての知識や技術の習得に励み、主体的、創造的に行動します。また、自由にモノを言える企業風土の醸成に努め、組織の壁にとらわれることなく、オープンマインドでチームを組み、総合力を発揮します。

(2) グローバルな視野に立って行動します

私たちは、国際社会の一員として、常にグローバルな視野に立って行動します。

(3) 差別やハラスメントのない職場づくりに努めます

私たちは、基本的な人権を尊重し、安全で働きやすい職場づくりを推進します。国籍、人種、宗教、思想、性別、年齢、身体上のハンディなどに基づく差別を行わず、あらゆる差別を生み出す偏見や固定観念などを排除し、いじめなどの不正な人権侵害を許しません。また、児童労働、強制労働を認めません。私たちは、セクシュアルハラスメントをはじめ相手方の意に反した発言、行動などの一切のハラスメントを行いません。また、そのような行為を容認しない職場づくりに努めます。

(4) 情報の共有化に努めます

私たちは、業務に必要なノウハウや情報を、一定のルールのもとにグループ内で共有化し、必要などに速やかに活用できるように努めます。

(5) 円滑にコミュニケーションを行います

役員及び幹部社員は、経営方針、目標を達成するための具体的方策や情報などを明確化して社員に的確、迅速に伝えるとともに、社員の建設的な意見や提案を汲み上げて経営の一助とします。

(6) プライバシーを尊重します

私たちは、職場で働く人々のプライバシーを尊重し、役職員に関する個人情報の収集、記録、管理、利用、廃棄において適切に取り扱います。また個人情報の紛失、改ざん、漏洩などの事故防止に努めます。

(7) 会社財産・機密情報は適切に管理します

私たちは、ネットワークを含む社内の情報システムや、その他会社の有形財産や知的財産を不正に使用しません。また、会社が保持する機密情報が漏洩してお客さまや取引先などの不利益とならないよう、適切な情報管理を行います。

(8) 利益相反行為は行いません

私たちは、職務上の立場や権限を利用して自分や他人の私的な利益に結びつける行為をしません。また、私たちは、業務上三菱地所グループと利害が対立する場合、役職員としての責務と相反する行為をしません。

(9) インサイダー取引は行いません

私たちは、職務などを通じて知った会社やグループ会社、取引先などの未公表の重要情報をもとにそれら会社の株式などを売買するインサイダー取引は行いません。また、それらの情報が不注意などにより、正式な公表前に外部に漏れることのないよう十分注意を払います。

(10) 虚礼は廃止します

私たちは、虚礼廃止に努め、社会通念の範囲の慶弔見舞金などを除き金品などの授受を行いません。

(11) 経費申請、決裁手続きは適正に行います

私たちは、投資や経費支出にあたっては所定の決裁基準・経費処理手続きに則り、会計・税務処理にあたっては関係法令・会計基準・社内諸規定に従って適正に行います。また、これら以外の諸申請についても、所定の手続きに則って行います。

(12) 職場における政治活動・宗教活動は原則行いません

私たちは、職場における政治活動及び宗教活動は、会社が認めた事業活動上必要な理由のある場合以外は行いません。

下 ページの先頭へ

第5章 罰則

本指針に反する行為は、就業規則などに基づく処分の対象とします。

下 ページの先頭へ

企業情報	事業内容	グローバルでの取り組み	支店情報
会社情報 事業案内 コーポレートブランド	住まい ショッピングセンター ホテル・リゾート 賃貸オフィス 資産活用 設計監理	グローバルでの取り組み ニュースリリース IR情報 CSR 採用情報	札幌支店 東北支店 横浜支店 名古屋支店 大阪支店 中国支店 九州支店
MEC FAN			

[個人情報保護方針](#)

[利用規約](#)

[ソーシャルメディアポリシー](#)

[サイトマップ](#)

Copyright © MITSUBISHI ESTATE Co., Ltd. All Rights Reserved.